

福島県教育庁社会教育課長
 福島県海浜青年の家所長
 福島県教育庁社会教育課員
 福島県教育庁教育事務所員
 福島県海浜青年の家所員

丑 込 幸 男
 佐 藤 保 太 郎

ア 県内に居住する18歳以上25歳未満の勤労青年で地域の信望あつく、研究心の旺盛な青年であること。
 イ 県教育委員会主催「青年学級、青年教室リーダー研修会」及び「青年団体指導者中級研修会」を修了し、将来、郷土にあって研究の成果を積極的に生かし得ると認められる者
 ウ 健康状態が良好で、研修に十分耐え得る者
 エ 過去において国内研修に参加していない者

(5) 内 容

① 講 義

- 「リーダーとしての心構え」
- 「司会のしかた、討議の進め方」
- 「地域におけるボランティア活動の進め方」
- 「地域活動の指導者をめざして」
- 「青年団体における学習活動の進め方」
- 「青年会における広報活動のチェックポイント」
- 「青年の生活設計を考える」

② 討議、実技

- 「組織づくりと役員の任務」
- 「庶務、会計事務の進め方」
- 「事業計画のたて方」
- 「会議、討議運営の技術」
- 「青年団体における学習計画の立案」
- 「これからの活動をめざして」
- 「スポーツ・レクリエーション」

⑤ 研 修 主 題

「青年活動における地域づくりのための実践活動をどのように進めたらよいか。」

7 県研究青年学級の委託

(1) 趣 旨

青年学級、青年教室の運営・学習内容・方法について実践的研究を委託し、勤労青少年教育の改善充実に資する。

(2) 研究委託青年学級、青年教室名

管 内	委託教育委員会名	学 級 名
会 津	磐梯町教育委員会	磐梯町青年教室 (山里サークル)
いわき	いわき市教育委員会	いわき市豊間青年学級

6 青年国内研修

(1) 趣 旨

勤労青年のリーダーを県外に派遣し、教育・文化・産業に関する調査、視察及び訪問先青年との交歓を通して研修し、広い視野に立って地域活動を推進できる青年リーダーの育成に資する。

(2) 派遣先、人員等

- ① 派遣先 長野県
- ② 人 員 青年団体活動班 6名
 青年学級、青年教室活動班 6名
- ③ 研修期日、内容

	事前研修	現地研修
期日	8月7日～8月8日	10月13日～10月17日
場所	国立磐梯青年の家	長 野 県
研 修 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○福島県のあらまし ○福島県の青少年教育と青年活動の状況 ○研修地に関する情報収集と事前研究 ○班編成と役割分担 ○活動推進上の諸問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○青年教育の現状に関する調査研究 ○研究主題に基づく調査研究 ○訪問先青年との交歓 ○社会教育施設の見学 ○産業文化活動の状況視察

④ 参加資格

下記の要件を備える者で、市町村教育委員会教育長及び所轄教育事務所長の推薦を受けた者

(3) 研究主題

青年学級、青年教室における学習内容・方法のあり方——郷土への理解と関心を高め、青年としての望ましい社会参加のしかたを身につけるための学習内容はいかにあるべきか——

(4) 委託の期間、条件、方法

- ① 委託の期間
 昭和56年6月1日～昭和57年2月28日まで
- ② 委託の条件
 ア 委託に要する経費として、1学級当たり県費10万円を交付する。
 イ 研究の成果については、研究終了後、指定された様式により、教育委員会に報告書を提出する。
- ③ 委託の方法
 教育事務所長より推薦された青年学級、青年教室のうちから、適切と認められるものに委託する。

8 青年教育研究協議会

(1) 趣 旨

市町村の青年教育担当者及び関係者を対象に、青年による豊かな地域づくりのための実践活動を促進する方策について研究協議を行い、青年教育の振興充実に資する。

(2) 期日、会場、参加者

- ① 期 日 昭和56年6月10日(木)～11日(金)
- ② 会 場 いわき市常磐公民館
- ③ 参加者 市町村教育委員会青年教育担当者及び青年学級、青年教室、青少年地域活動促進事業実施市町村の青年並びに関係者 115名